

令和3年度沖縄県立那覇西高等学校推薦入試選抜基準

1. 普通科 次の1.～4.の4項目を点数化して、その総得点を合否判定の基準とする。

1. 内申点（中学1年、中学2年、中学3年の9科目の5段階評定の合計）

2. 自己表現または個性表現の実績

(ア)～(エ)の項目について、以下の基準で点数化する。

受検生が申請した推薦項目についてのみ、最も高い実績を1つだけ採用する。

【自己表現の分野】

分野		ランク	A	B	C	D	E
(ア) 文化活動			全国大会で最優秀賞 優秀賞 金賞	全国・九州入賞 県最優秀賞 又は準ずる賞	県大会 優良賞以上 又は準ずる賞	県佳作・入選、地区金賞 又は準ずる賞	その他
	合唱コンクール	NHK			金賞	銀賞・銅賞	
		沖縄県 校内・学級			金賞	銀賞	銅賞
		沖縄県 吹奏楽コンクール			金賞	銀賞 Bパート最優秀賞	銅賞
(イ)スポーツ活動 (中体連、競技団体主催)			全国大会 出場	九州大会出場 指定強化選手	県大会 ベスト4以上に値する	地区大会 準優勝以上に値する	その他
					※ 体力テスト（反復横とび、上体起こし、長座体前屈、立ち幅とび）を実施。ランクC以下を基本とし、評価する。		
(ウ) 社会活動、ボランティア活動			全国表彰	九州表彰	県表彰	地区表彰	その他
(エ) 資格取得等	英検・漢検・数検		2級以上	準2級	3級	4級	その他
	書道					有段者	
	硬筆・毛筆検定					3級以上	
	珠算					3級以上	
	剣道・空手					1級以上	
	柔道					3級以上	

【個性表現の分野】

分野	基準・得点
(ア)音楽、美術、書道などの芸術分野	1分野のみを、自己表現のランクに準じて評価するが、 ランクC以下を基本とし、面接内容を含めて審議する。
(イ)文芸、研究などの分野	
(ウ)舞踊、創作ダンス、手話等の身体的活動を伴う分野	
(エ)留学などの体験分野	

3. 特別活動(調査書表記または証明書がある事)

分野	ランク	A	B	C	備考
(1) 生徒会		会長	副会長・書記・会計		(1)～(3)の 加点は3ヶ年で 1回
(2) 学級				正副級長	
(3) 部活動			部長		
(4) 部活動			3年間通じて活動		(4),(5)はどちらか1つを加点
(5) 申請分野以外			自己表現のランクB以上の実績		

4. 出欠の記録 (調査書に「皆出席」の表記がされている事)

ランク	A	B	C
皆出席	3カ年	2カ年	1カ年

※特別枠【普通科】

基準を以下のように設定し、基準1, 2のいずれかを満たした者を審議し特別枠とする。

基準1. 評定平均4.5以上で、部活動を中学校3ヶ年間続けた者。

基準2. 評定平均3.5以上で、全国大会へ出場した者。

II. 国際人文科 次の5項目を点数化して、その総得点を合否判定の資料とする。

1. 内申点 (中学1年、中学2年、中学3年の9科目の5段階評定の合計)

2. 自己表現または個性表現の実績

(ア)～(エ)の項目について、以下の基準で点数化する。

受検生が申請した推薦項目についてのみ、最も高い実績を1つだけ採用する。

【自己表現の分野】

分野		ランク	A	B	C	D	E	F
(ア)文化活動				最優秀賞 優秀賞、金賞	優良賞 銀賞		佳作・入選、 銅賞	A～E以外の実績は審議し、 ランクに準じ 5点以上で加 点する。 ※文化活動に おいての表彰 は、県レベル 以上のコン クールとする
	クール コン コン	NHK		金賞	銀賞		銅賞	
		沖縄県 校内・学級		金賞	銀賞		銅賞	
		沖縄県 吹奏楽コンクール		金賞	銀賞、Bパート 最優秀賞		銅賞	
		英語関係 コンテスト		全国・九州 出場	県大会出場		市町村大会 出場	
(イ)スポーツ活動 (中体連、競技団体主催)				全国・九州 出場	県大会 3位以上		地区大会 優勝	その他
(ウ)社会活動、ボランティア活動				全国・九州 で表彰	県で表彰		地区で表彰	その他
(エ)資格 取得 等	英検		2級以上	準2級		3級		A～E以外の実績の場合は審議し、 ランクに準じ評価する。
	国連英検		C級以上	D級				
	漢検・数検			2級以上	準2級		3級	
	珠算						3級以上	
	硬筆・毛筆検定				2級以上		3級	
	書道						有段者	

【個性表現の分野】

分野	基準・得点
(ア)音楽、美術、書道などの芸術分野	1分野において、面接内容を含めて審議し、 ランクA～Dとして加点する。 基本はランクCとし面接内容を含めて審議する。
(イ)文芸、研究などの分野	
(ウ)舞踊、創作ダンス、手話等の身体的活動を伴う分野	
(エ)留学などの体験分野	

3. 特別活動

分野	ランク	A	B	備考
(1) 生徒会		会長		(1)～(5)の 加点は3ヶ年 で1回
(2) 生徒会			執行部	
(3) 学級			正副級長	
(4) 部活動			部長	
(5) 部活動			3カ年継続	

4. 出欠の記録 (調査書に「皆出席」の表記がされている事)

ランク	A	B	C
皆出席	3カ年	2カ年	1カ年

5. 英語面接点 (英検準2級レベル)

内容	(ア) 音読	(イ) 英文内容に関する質問	(ウ) その他の質問

※特別枠【国際人文科】

基準を以下のように設定し、基準1, 2, 3, 4の全てを満たした者を審議し特別枠とする。

基準1. 学業成績・勤怠状況ともに優秀である生徒。

基準2. リーダーシップがあり、校内外さまざまな行事で活躍が期待される生徒。

基準3. 他者と積極的に交流しようという意欲にあふれ、将来国際社会の発展に寄与することが期待される生徒。

III. 体育科

1. 体育科の特性を考慮し、次の観点から選考する。

- (1) 心身共に健康で、専門の実技科目等の履修が可能であること。
- (2) 実技検査を実施する。
 - ① 共通種目 : 新体力テストの4種目 (反復横とび、上体起こし、長座体前屈、立ち幅とび)
 - ② 各種目の検査: 実技検査種目に関する調査書で申請した種目
- (3) 中学校で上記専攻種目のスポーツ活動の実績があり、且つ高校入学後下記専攻種目での部活動を3カ年間継続する強い意志、意欲があること。
- (4) 面接の結果が良好であること。(点数化はしない)
- (5) 内申(評定)の平均が原則として、3.0以上であること。

2. 内申点と実技点の配分

- (1) 内申点 (中学1年、中学2年、中学3年の9科目の5段階評定の合計135点を180点到に換算)

(2) 実技テスト・自己表現または個性表現

① 自己表現・個性表現の実績目安

中学校における実績(専攻種目に関するもの) ※実績は得点の高い1項目を採用する。

ランク	A	B	C	D	E
内容	全国大会 出場	九州大会 出場	県の強化選 手に指定さ れたもの	県大会 3位入賞	県大会出場 (3年次)

② 実力テスト

項目	内容
ア 新体力テスト	反復横とび、上体起こし、長座体前屈、立ち幅とび
イ 各種目	基本技能、応用技能、ゲーム等

※ 専攻種目

陸上競技(男・女)・水泳(男・女)・柔道(男・女)・ハンドボール(男・女)
・サッカー(男子)

※ 特別枠【体育科】

基準を以下のように設定し、基準1, 2, 3の全てを満たした者を審議し特別枠とする。

基準1. 本校専攻種目において、高い競技能力・運動能力を有している者。

基準2. 評定平均が原則3.0以上の者。

基準3. 次のいずれかを満たした者。

- ① 競技成績が九州・全国大会にて、優秀な成績を残している者。
(団体競技においてはレギュラーのみとする)